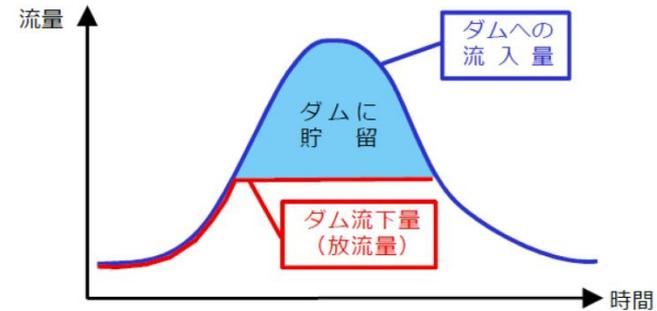
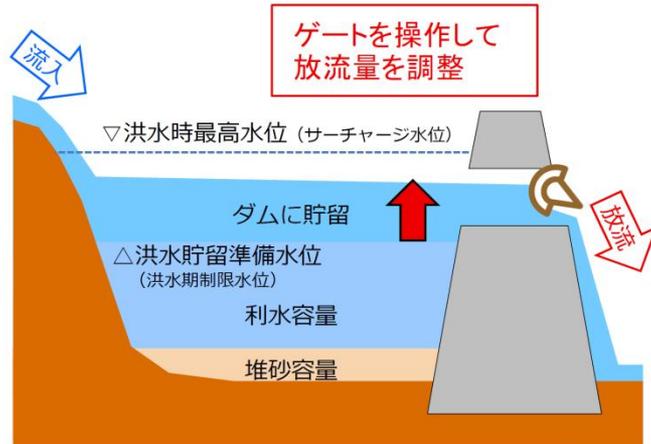


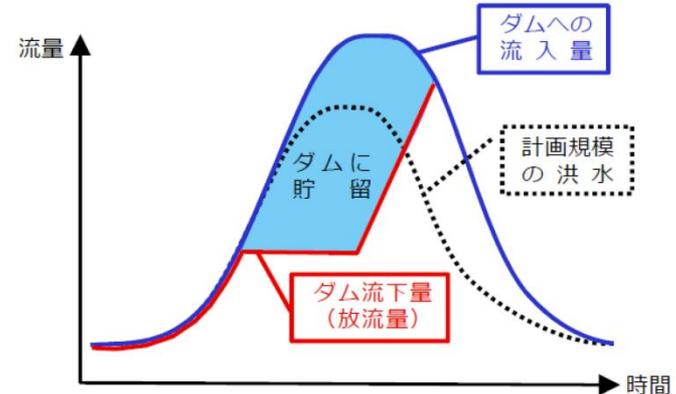
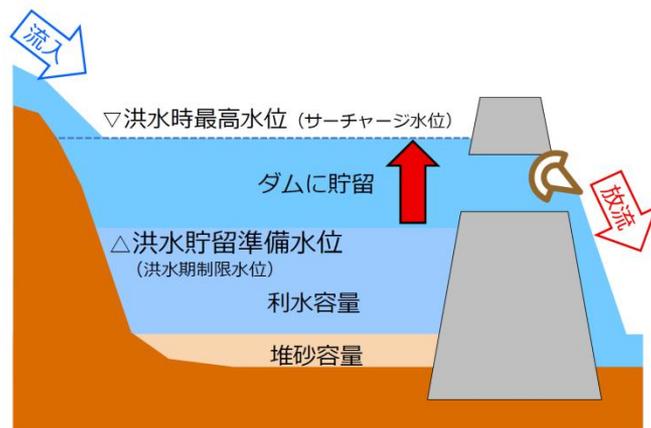
○異常洪水防災操作とは

■通常の防災操作(洪水調節)



洪水時にダム上流からの水をダムに一部貯めながら放流することで、下流に流れる水量を減らす操作。

■異常洪水時防災操作



ダムの貯水量が満杯になるとダムに貯め込むことができなくなるため、ダムに流れ込んだ量と等しくなるまで放流量を増加させる操作。

○平成30年7月豪雨時における一庫ダムの防災操作

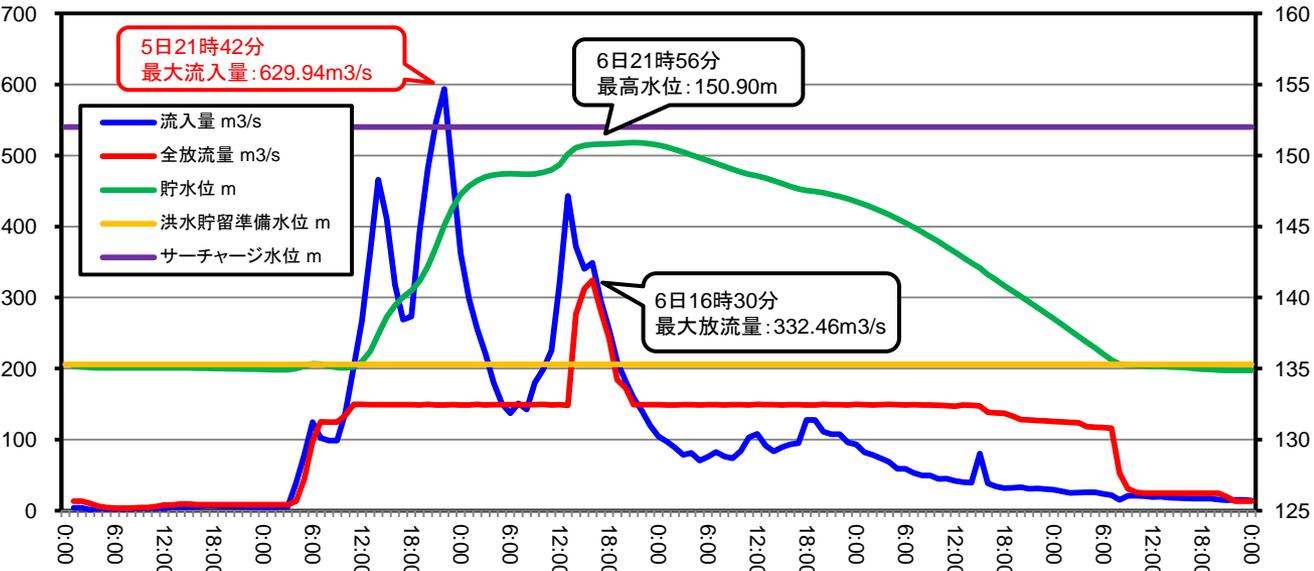
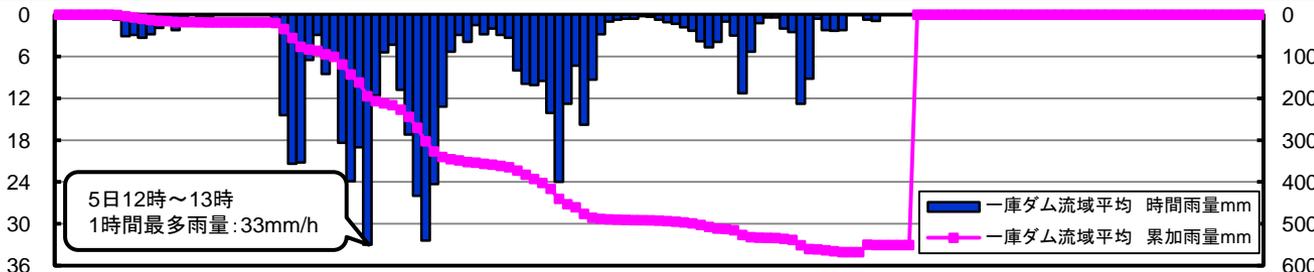
- 平成30年7月豪雨では、一庫ダム流域における総雨量は551mm、最大日雨量は330mm（7月5日）を記録し、ともに観測開始以来最大を記録しました。
- 7月5日21時頃、最大流入量629.94m³/sを記録しました。
- 洪水時最高水位に迫る水位まで貯水池を活用して洪水調節を行いました。一庫ダムの洪水調節容量を使い切ることが予想されたため、異常洪水時防災操作を実施しました。（貯水率：約95%）



洪水貯留開始前の貯水池
(7月2日10時頃)



洪水時最高水位に近づく貯水池
(7月6日17時頃)



異常洪水時防災操作時の放流警報

ダムからの放流警報は、これまで、ゲートから放流開始の30分前(①)と異常洪水時防災操作開始の30分前(③)にサイレン吹鳴、スピーカー音声放送を行ってきました。

平成30年7月豪雨を受け、**異常洪水時防災操作開始の3時間前(②)**を追加します。
また、今後は放流警報設備のサイレン、スピーカーを増設する予定です。

■警報内容等

実施時期	警報内容
<ゲート放流開始時> ①ゲート放流開始30分前	<ul style="list-style-type: none"> ・スピーカー音声放送(音声放送) ・サイレン吹鳴 ・警報車による警報、巡視
<u><異常洪水時防災操作時></u> ②異常洪水時防災操作開始3時間前	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>スピーカー音声放送(緊急効果音+音声放送)</u> ・<u>サイレン吹鳴</u>
<異常洪水時防災操作時> ③異常洪水時防災操作開始30分前	<ul style="list-style-type: none"> ・スピーカー音声放送(緊急効果音+音声放送) ・サイレン吹鳴 ・警報車による警報、巡視

※アンダーライン：放流警報内容等の追加

